

第26回

佐賀県栄養改善学会

佐賀県栄養改善学会は、昨年11年振りに開催し大盛況のうちに閉会しました。急速に変化する社会情勢に、専門職として柔軟に対応できる資質能力を高める必要性があり、極めて重要です。それぞれの職域がどのような問題を抱え考え、対応しているか知ることは、別の職域の者からは新鮮で、新しい視点、発想となる場合もあります。自己研鑽の場として、共に学びませんか。

— みなさまの御参加をお待ちしております —

日時

令和5年7/9(日) 13:30~15:30(受付13:00~)

場所

西九州大学グループ健康支援センター多目的ルーム
〒840-0054 佐賀市水ヶ江一丁目12-10(佐賀メイカルセンタービル1F)

参加費

佐栄会員:1,000円 県外日栄会員:2,000円
一般:3,000円 学生:300円(学生証提示)

同封のゆうちょ銀行振り込み取扱票(青色)に ①会員番号 ②名前 ③参加する研修会に○を付け、令和5年6月15日(木)までに、下記宛てに参加費の振込みをお願いします。(振込手数料自己負担)
栄養改善学会、生涯教育研修会、JDA-DATスタッフ養成研修会の3つの研修会が一度に申し込み入金可能です。尚、webの参加の方は、各自で研修会資料をダウンロードしていただきます。

【振込先】

ゆうちょ銀行もしくは郵便局から振込する場合はこちら
口座番号 0183-5-43996 名義:公益社団法人佐賀県栄養士会

他の銀行等の金融機関から振込する場合はこちら

銀行名:ゆうちょ銀行
支店名:一八九店(イチハチキュウ) 口座種類:当座預金
口座番号:0043996 口座名義:公益社団法人佐賀県栄養士会

参加方法

会場 または Web(Zoom)にて参加

申込方法

右記のQRコードを読み込み、申込フォームにて申し込む
申込期限:令和5年6月15日(木)
(公社)佐賀県栄養士会のHPにも掲載



《問合せ》(公社)佐賀県栄養士会 事務局 Tel:0952-26-2218 Fax:0952-26-5249

〒840-0054 佐賀市水ヶ江一丁目12-10 佐賀メディカルセンタービル1F

mail:sagakeneiyoushikai@luck.ocn.ne.jp

○ 研究発表者

発表順	1	2	3	4
氏名	さかぐち かえで 坂口 楓 おおぐし こ 大串 のり子	みすみ さちこ 三隅 幸子	うえだ はるひ 上田 晴陽	とみなが 富永 ゆかり
支部	杵藤	佐賀中部	唐津	唐津
職域	医療	教育研究	公衆栄養	地域活動
勤務先	新武雄病院	西九州大学	唐津保健福祉事務所	認定栄養ケア・ステーションテンジン
演題名	回復期をみすえた急性期での栄養管理のとりくみ	遠隔授業に慣れた学生は臨地実習（臨床栄養学）で何を学んだか？	いただきますは野菜から～SAGA VEGETABLE START project～における、子供・働き盛り世代へのアプローチとその効果について	地域包括ケアシステムの一端を担うために認定栄養ケア・ステーションテンジンが取り組んでいる事業とその課題
発表の要旨	当院は回復期病棟を併設した急性期病院である。当院では管理栄養士が増員となり、各病棟に1名配置が実現し、より細かな栄養管理を行うことができるようになった。回復期リハビリ病棟では低リスクが高いと言われている。回復期をみすえた急性期からの栄養管理の取り組みについて報告する。	2年振りに病院での臨地実習が再開され、改めて現場で管理栄養士の実習を行う意義を検討することを目的とした。現場の実習において学生は何に気づき、何を学んでいるのか、実習前後の調査を比較検討する。	佐賀県が「さが健康推進県民運動」の一環で事業展開している「SAGA BEGETABLE START project」ではオリジナル絵本や推進野菜摂取量測定器を活用し、①まず野菜から食べること、②1日野菜+80 gの2つを県民へ啓発している。その事業内容と効果について発表する。	地域活動をしていると、地域住民にとって栄養士は身近な存在とは言えないよう感じる。認定栄養ケア・ステーションとして、地域に求められる栄養士をめざして何ができるかを検討する。

○ 座長 学校法人永原学園 西九州大学 教授 堀田 徳子 先生

